



北海道ヘリテージ・ナイトセミナー

～北海道の遺産から歴史・文化を再発見～



私たちの身近には、次世代に引き継ぎたい北海道の宝物「北海道遺産」、国の「日本遺産」に認定されたストーリーなど北海道の歴史や文化を形成してきた多彩な“遺産(ヘリテージ)”があります。

今回のセミナーでは、“北海道遺産”に選定されている建築物からの発見、江戸から明治にかけて我が国の海運を担い“日本遺産”に認定された「北前船」にルーツを持つ建築物などから北海道の歴史・文化を改めて見つめ直してみたいと思います。

北海道の”遺産”を皆様に知っていただき、歴史の舞台となり文化として受け継がれている現地を訪れ、過去から現在に向けての息吹を感じていただきたいと思います。

日時 令和2年10月27日(火) 18:30～20:30

※開場 18:00

会場 札幌市時計台2階ホール
(札幌市中央区北1条西2丁目)



内容 講演Ⅰ「街を歩き、街を知り、街を楽しむ」

～北海道遺産の味わい方～

講師：札幌建築鑑賞会 代表 杉浦 正人 氏

講演Ⅱ「日本遺産「北前船」と北海道」

～北前船ゆかりの建築物とそのストーリー～

講師：小樽商科大学グローバル推進センター学術研究員

北前船研究活用ネットワーク代表 高野 宏康 氏

定員 50名(事前予約制)

申込 電話又はメールにより、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をお知らせください。

※お預かりした個人情報はセミナーの運営及び新型コロナウイルス感染症対策以外には使用しません。

北海道総合政策部地域政策課

☎ 011-206-6404 E-mail: sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

※電話申込は8:45～17:30(土日、祝日を除く。)

締切 10月23日(金)まで。定員になり次第終了します。

札幌建築鑑賞会 代表 杉浦 正人 氏

**「街を歩き、街を知り、街を楽しむ」
～北海道遺産の味わい方～**

愛知県出身。平成3年に発足した札幌建築鑑賞会の代表を務め、30年にわたって札幌の街の歴史・地誌をみつめてきた。身近な文化遺産の再発見をテーマに知的好奇心を満たすまち歩きのイベント「大人の遠足」や写生会「古き建物を描く会」を開催するほか、会報誌「きーすとーん」を年3回発行するなど多彩な活動を展開している。



小樽商科大学グローバル戦略推進センター
学術研究員、北前船研究活用ネットワーク代表
高野 宏康 氏

**「日本遺産「北前船」と北海道」
～北前船ゆかりの建造物と
そのストーリー～**

「北前船の里」として知られる石川県加賀市橋立出身。博士（歴史民俗資料学）。北前船の調査研究および地域活性化事業に取り組む。『北前船と小樽・後志～歴史文化のツールを訪ねて～』等、北前船と北海道の関わりについて多数執筆。『小樽チャンネル Magazine』誌上で歴史的建造物とそのストーリーから読み解く「小樽れっけん」を連載中。



北海道遺産とは

掘り起こされた宝物を地域で守り、育て、活用していく中から新しい魅力を持った北海道を創造していく「北海道遺産構想」からスタートしました。北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、道民参加によって北海道民全体の宝物として選定されたのが「北海道遺産」で現在67件あります。

日本遺産とは

地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」に認定。魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用、国内外に戦略的に発信することで地域活性化を目指す取組です。全国で104の認定ストーリーがあり、「ニシンの繁栄が息づく町」、「北前船」、「上川アイヌ」、「炭鉄港」、「鮭の聖地の物語」の5つのストーリーが認定されています。

新型コロナウイルス感染防止の観点からご来場の皆様にご協力をお願いします

- 体調不良、ご気分のすぐれない方のご来場はご遠慮ください。
- 会場内ではマスクの着用をお願いします。
- 入場時に検温させていただきます。37.5℃以上の方はご入場をお控えください。